



平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年4月26日

上場会社名 G C A サヴィアングループ株式会社 上場取引所 東
コード番号 2174 URL http://www.gcasavvian.com
代表者 （役職名） 代表取締役 （氏名） 渡辺 章博
問合せ先責任者 （役職名） I R 室リーダー （氏名） 加藤 雅也 TEL 03-6212-7100
四半期報告書提出予定日 平成24年5月11日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績（平成24年1月1日～平成24年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年12月期第1四半期	2,401	△66.5	734	△59.9	790	△57.2	302	△18.4
23年12月期第1四半期	7,165	404.2	1,832	—	1,844	—	370	—

（注）包括利益 24年12月期第1四半期 616百万円（△60.8％） 23年12月期第1四半期 1,573百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	1,056.37	1,056.37
23年12月期第1四半期	1,296.67	1,217.39

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
24年12月期第1四半期	33,697	32,258	20.4	23,958.91
23年12月期	36,093	34,163	18.8	23,660.34

（参考）自己資本 24年12月期第1四半期 6,864百万円 23年12月期 6,778百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期（予想）	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

23年12月期期末配当金の内訳 特別配当 1,000円00銭

3. 平成24年12月期の連結業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

（％表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	9,900	△33.8	2,430	△42.5	2,444	△42.1	700	31.3	2,443.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

第2四半期連結累計期間の業績予想は公表しておりません。詳細は、【添付資料】1. 当四半期決算に関する定性的情報をご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 有
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期 1 Q	351,329株	23年12月期	351,329株
② 期末自己株式数	24年12月期 1 Q	64,831株	23年12月期	64,831株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期 1 Q	286,498株	23年12月期 1 Q	285,868株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化等により、上記予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年1月1日～平成24年3月31日）における世界経済は、欧州での金融不安や米国の景気回復鈍化などに加え、中国・インドなどにおいても、金融引き締め政策などによる成長の鈍化が見られるなど、世界的な景気減速懸念が高まりました。わが国経済は、東日本大震災により混乱していたサプライチェーンの修復は予想以上に急速に進みましたが、海外経済の低迷、円高の定着などから景気は足踏み状態に陥り、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

グローバルM&A市場は前年同期比で35%縮小しました（トムソンロイター調べ）。日本のM&A市場は前年同期とほぼ同水準であるものの、当社グループの得意とするクロスボーダーM&Aは引き続き増加傾向であり、金額ベースでは国内企業同士のM&Aを大きく上回っております。当社グループの主要市場である米国M&A市場においては、当社グループの得意とするITセクターのM&A市場が引き続き好調を維持しておりますが、一時的な競争激化により前年同期比で減収となりました。しかしながら、足下の受注状況は回復傾向にあります。このような環境の中、当社グループにおきましては、経営理念である「Trusted Advisor For Client's Best Interest」を実現し、クライアントの価値創出のために社員一丸となって、付加価値の高い助言業務に取り組んでまいりました。その結果、日本のM&A市場の平成24年第1四半期のランキングでは件数ベースで5位（トムソンファイナンス調べ）と健闘いたしました。

こうした経営環境の中でクライアントにとって最善のM&A案件を提案・成約する機能をさらに強化するため、大阪事務所開設の準備に着手いたしました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,401百万円（前年同四半期比66.5%減）、営業利益734百万円（前年同四半期比59.9%減）、経常利益790百万円（前年同四半期比57.2%減）、四半期純利益302百万円（前年同四半期比18.4%減）となりました。報告セグメント別の売上は、アドバイザリー事業1,961百万円（前年同四半期比8.9%減）、アセットマネジメント事業184百万円（前年同四半期比40.4%増）、ファンド事業440百万円（前年同四半期比91.2%減）となっております。

なお、当社グループの出資割合がそれぞれ1%である3つの投資事業有限責任組合（ファンド）を除いた業績（ファンド非連結ベース）は以下のとおりであり、売上高、四半期純利益は好調であった前年第1四半期と同等となっております。

ファンド非連結経営成績（累計）					（%表示は、対前年同四半期増減率）			
	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期 第1四半期	2,145	△6.1	488	△23.9	543	△16.9	300	△16.1
23年12月期 第1四半期	2,283	80.2	641	—	653	—	358	—

また、連結業績予想に対する進捗状況は、売上高24.3%、営業利益30.2%、純利益43.1%となっており、順調に推移しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は33,697百万円となり、前連結会計年度末比2,395百万円の減少となりました。その主な要因は、配当等による現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の減少額661百万円、売上債権の増加額156百万円、営業貸付金の回収による減少額1,927百万円によるものであります。なお、純資産は32,258百万円となり、自己資本比率は20.4%となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、平成24年2月15日付「平成23年12月期決算短信」にて発表いたしました業績予想から変更はありません。

また、第2四半期連結会計期間の業績予想につきましては、当社グループの事業内容が案件クロージングのタイミング及び案件一件当たりの手数料の多寡によって大きな影響を受ける状況にあり、企業業績を判断する上で適切ではないことから行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

税金費用の計算方法の変更

税金費用については、従来、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっておりましたが、四半期会計期間の税金費用をより適切に計算するため、前第2四半期連結会計期間より、年度決算と同様の方法で、納付税額の算出にあたり加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法に変更しております。

なお、変更後の方法を前第1四半期連結会計期間に適用した場合、四半期純利益に与える影響は軽微であります。

（2）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,993	6,327
売掛金	929	1,086
有価証券	1,761	1,765
営業投資有価証券	10,731	10,749
営業貸付金	13,667	11,739
その他	546	457
貸倒引当金	△6	△1
流動資産合計	34,622	32,124
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	152	146
その他（純額）	113	114
有形固定資産合計	265	260
無形固定資産	31	28
投資その他の資産		
投資有価証券	151	160
関係会社株式	91	91
その他	956	1,053
貸倒引当金	△26	△23
投資その他の資産合計	1,173	1,283
固定資産合計	1,470	1,572
資産合計	36,093	33,697
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	96	258
引当金	—	335
その他	1,577	569
流動負債合計	1,673	1,162
固定負債		
その他	256	276
固定負債合計	256	276
負債合計	1,930	1,438
純資産の部		
株主資本		
資本金	514	514
資本剰余金	9,453	9,453
利益剰余金	1,349	1,365
自己株式	△4,217	△4,217
株主資本合計	7,100	7,116
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△321	△252
その他の包括利益累計額合計	△321	△252
新株予約権	489	596
少数株主持分	26,895	24,797
純資産合計	34,163	32,258
負債純資産合計	36,093	33,697

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	7,165	2,401
売上原価	4,698	1,248
売上総利益	2,466	1,152
販売費及び一般管理費	634	417
営業利益	1,832	734
営業外収益		
受取利息	4	4
為替差益	7	50
その他	1	1
営業外収益合計	12	56
営業外費用		
その他	—	1
営業外費用合計	—	1
経常利益	1,844	790
税金等調整前四半期純利益	1,844	790
法人税等	295	242
少数株主損益調整前四半期純利益	1,549	547
少数株主利益	1,178	244
四半期純利益	370	302

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,549	547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	—
為替換算調整勘定	22	69
その他の包括利益合計	23	69
四半期包括利益	1,573	616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	394	372
少数株主に係る四半期包括利益	1,178	244

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	アドバイザリー 事業 (百万円)	アセット マネジメント事業 (百万円)	ファンド 非連結 計 (百万円)	ファンド 事業 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,152	—	2,152	5,013	7,165	—	7,165
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	131	131	—	131	(131)	—
計	2,152	131	2,283	5,013	7,296	(131)	7,165
セグメント利益	619	22	641	1,190	1,832	—	1,832

なお、アドバイザリー事業の地域別内訳は以下のとおりです。

	日本 (百万円)	米国 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)
売上高	1,415	733	3	2,152
営業利益(又は営業損失)	487	190	(59)	619

(注) 「その他」に属する主な国は英国であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	アドバイザリー事業 (百万円)	アセットマネジメント事業 (百万円)	ファンド非連結計 (百万円)	ファンド事業 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結損益計算書計上額 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,961	—	1,961	440	2,401	—	2,401
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	184	184	—	184	(184)	—
計	1,961	184	2,145	440	2,585	(184)	2,401
セグメント利益	425	62	488	246	734	—	734

なお、アドバイザリー事業の地域別内訳は以下のとおりです。

	日本 (百万円)	米国 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)
売上高	1,428	531	1	1,961
営業利益（又は営業損失）	570	(110)	(34)	425

（注）「その他」に属する主な国は英国であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。